

落橋防止用緩衝ゴム（ラッキョウボウシD）

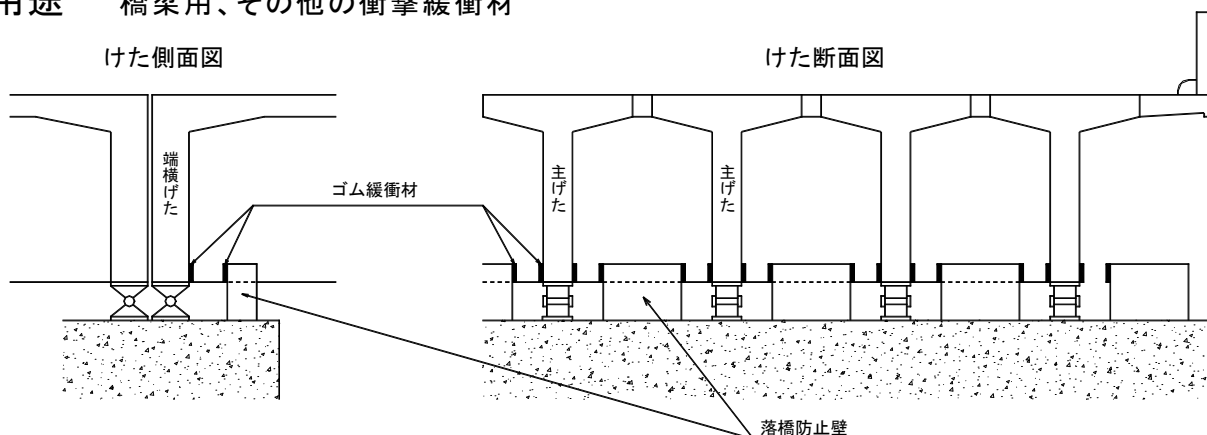
兵庫県南部地震以降、また現在においても橋梁用支承ゴムおよびゴム緩衝材は安全性、耐久性の点でも重要な材料となっています。

平成7年6月社団法人日本道路協会より発行された「兵庫県南部地震により被災した道路橋の復旧に係る仕様」の準用に関する参考資料（案）に記載されている落橋防止構造の落橋防止壁および端横桁の接触部分に衝撃緩衝用として使用されるゴム緩衝材について、必要とされている許容支圧応力度を満足するクロロプレン系合成ゴムについて紹介いたします。

◆特長

- I 耐衝撃性にすぐれ、地震時の衝撃荷重を緩衝します。
- II 許容支圧応力度 $12\text{N}/\text{mm}^2$ 以上の圧縮性能を有します。
- III 適度の耐油性、耐水性、耐候性があり、耐久性にも優れています。

◆用途 橋梁用、その他の衝撃緩衝材



図：落橋防止壁設計例

「兵庫県南部地震により被災した道路橋の復旧に係る仕様」
の準用に関する参考資料（案）より

◆物性

品名	材質	硬さ タイプ A デュロメータ	許容支圧応力度 N/mm^2
落橋防止用ゴム	クロロプレン系合成ゴム	55±5	12 以上

注) NEXCO の示方書に規定されているハニカム型緩衝材の設置が困難な場合に適用されます。

◆寸法

厚さ 50mm × 巾 1000 × 長さ 2000

※上記以外の寸法につきましては別途ご相談ください。